

マルチネットワークデモ 動作説明

暫定版

4機種ある基板にはそれぞれ異なるプログラムが入っておりCAN通信を行いながら各基板の情報を受け渡すデモとなっています。

CANの通信部分等は共通部分として使用していますので使用している使用していないに関わらず4機種の基板全てのデータを受信しています。

展示会時に使用したデモとなっておりますのでボード全ての機能を使用して作成したものではありません。

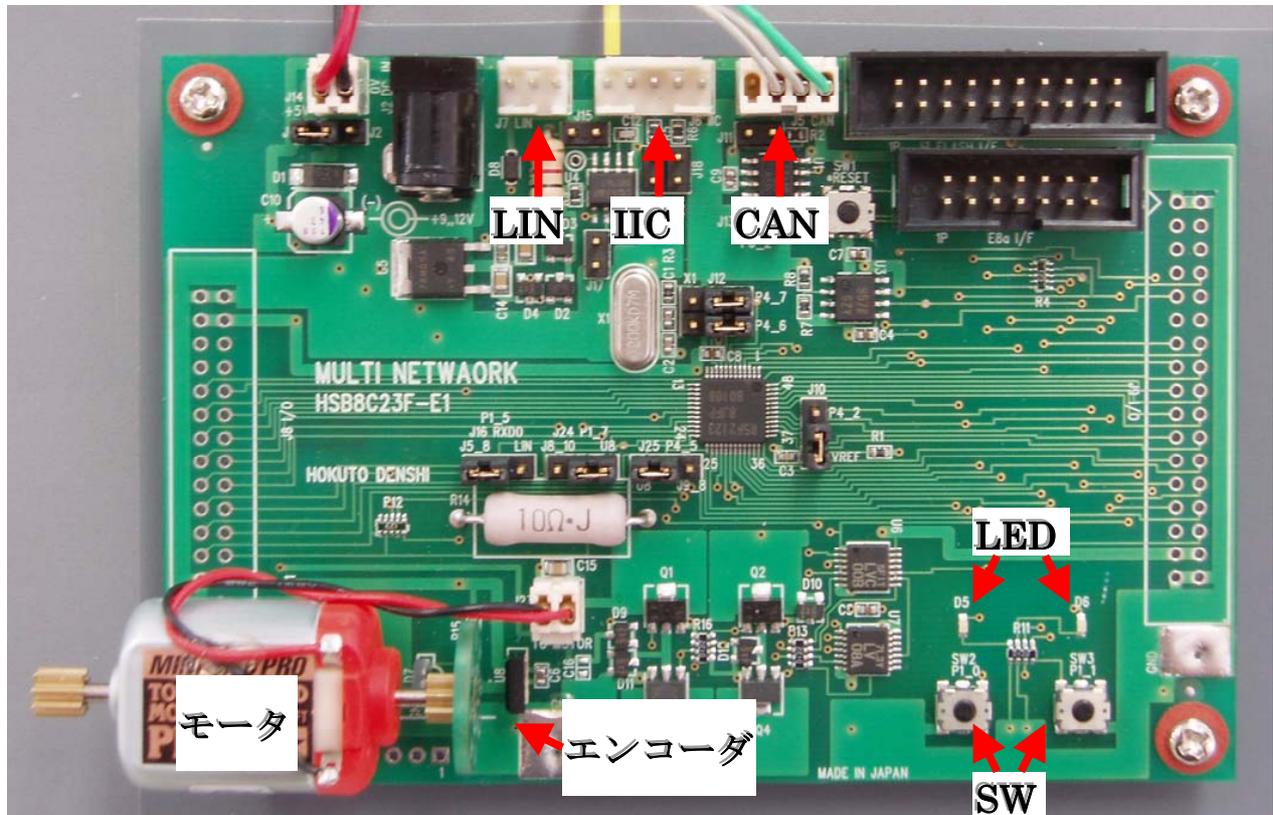
また、本プログラムではLINやIICの通信は行っていないので接続しても通信は行いません。

HSB8C23F-E1

この基板にはモータとエンコーダが付いています。

CAN情報を受信しモータの停止・先進・後退情報とPWM比率の0から100パーセントの情報をモータ制御しています。

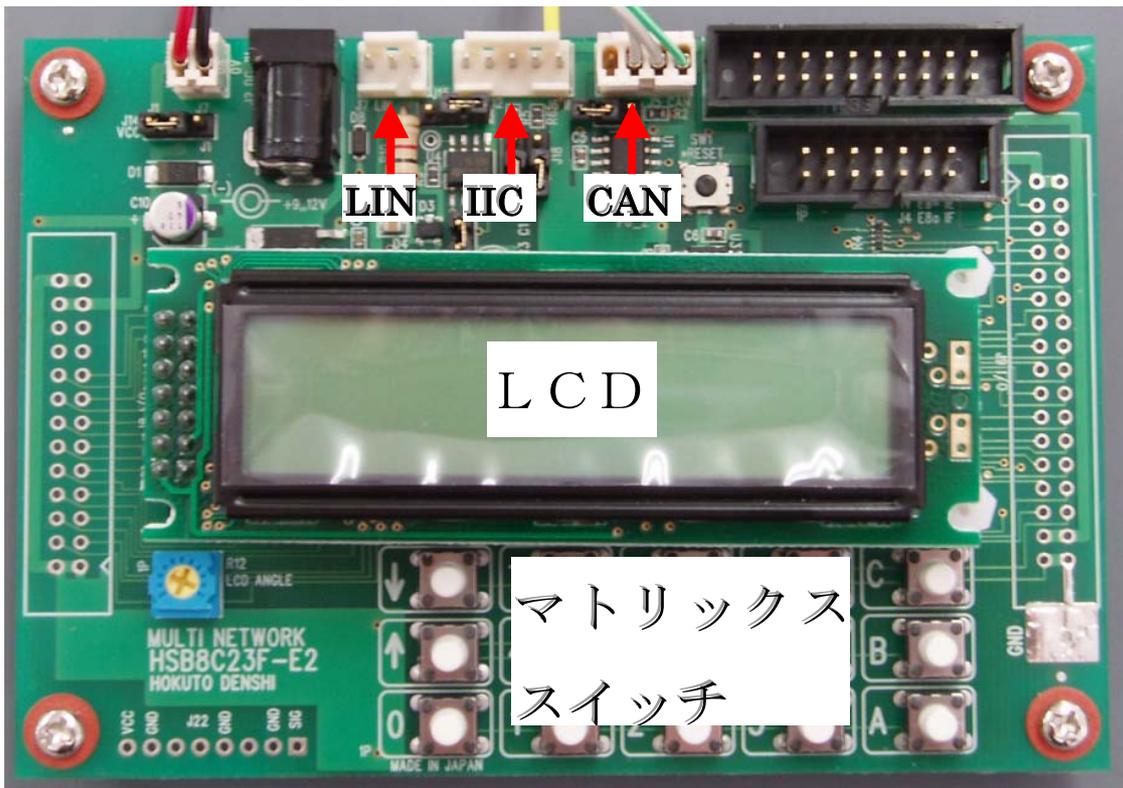
エンコーダの値はタイマで一定期間のパルスをカウントしCAN情報として送信しています。



HSB8C23F-E2

この基板にはLCDとマトリクススイッチが付いています。

CAN情報を受信しLCDに表示、スイッチ情報をCAN情報として送信しています。

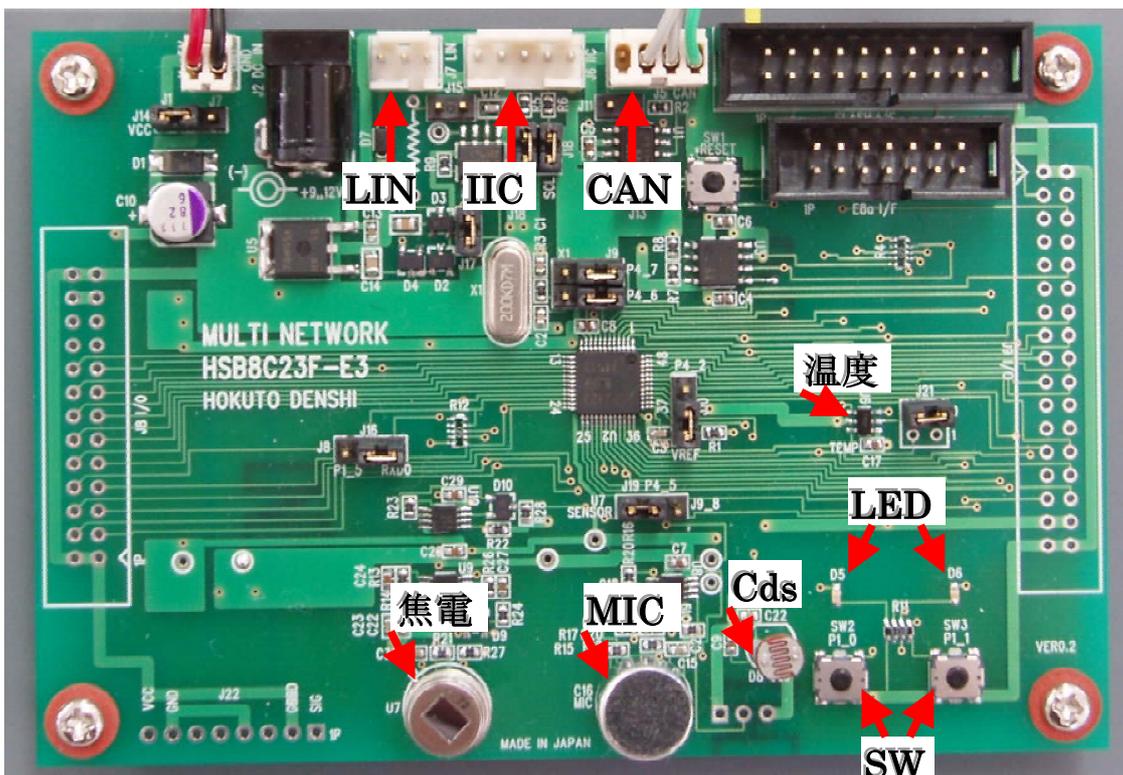


HSB8C23F-E3

この基板には焦電センサ・MIC・Cds・温度センサが付いています。

焦電センサ・MIC・Cds情報をCAN情報として送信しています。

CAN情報は受信していますが使用していません。

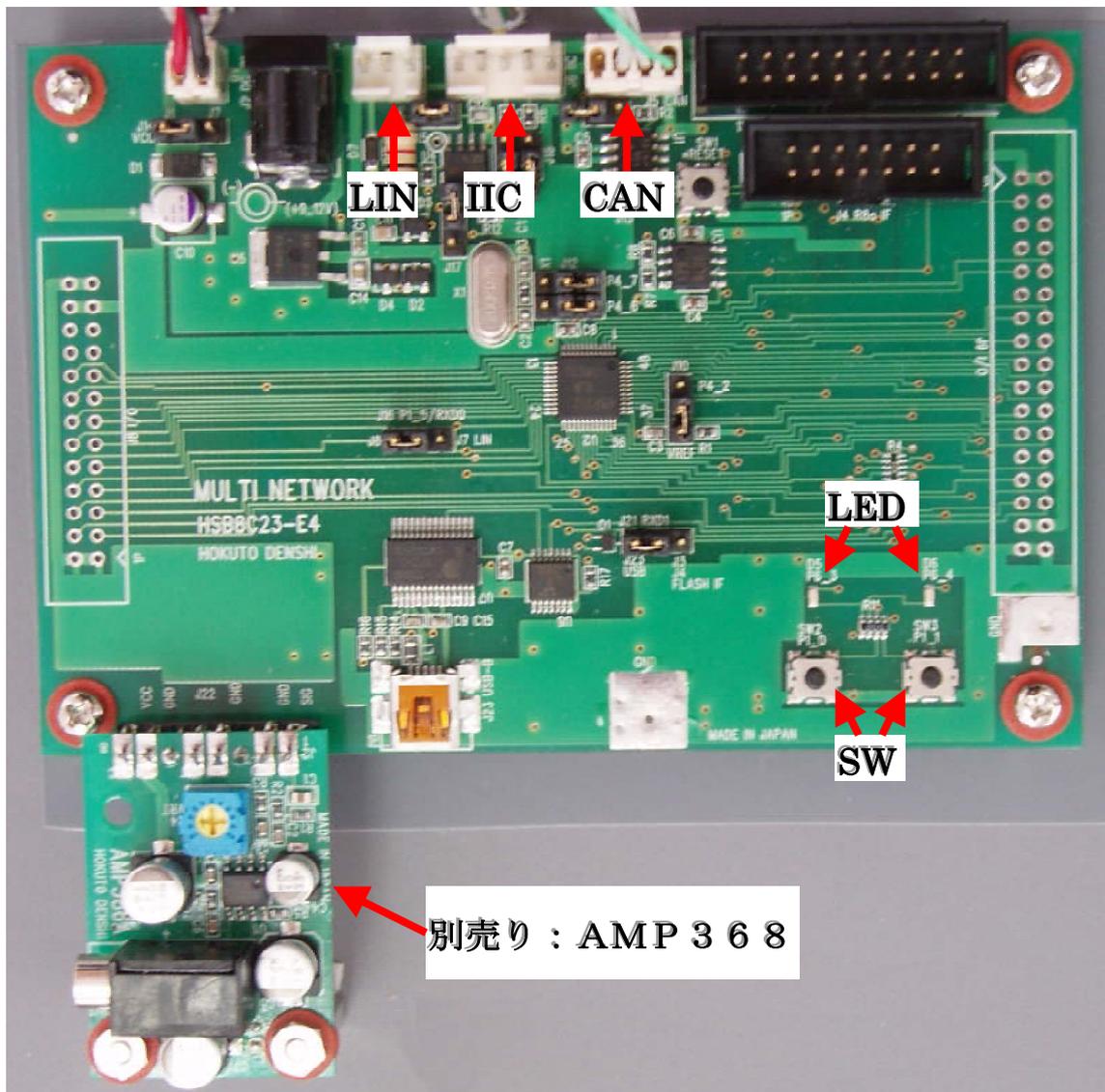


HSB8C23F-E4

この基板にはUSBシリアル変換が付いています。

CANの情報をシリアルに変換又はシリアルをCANに変換しています。

また、別売りのAMP368を繋ぎPWM出力で音を出しています。



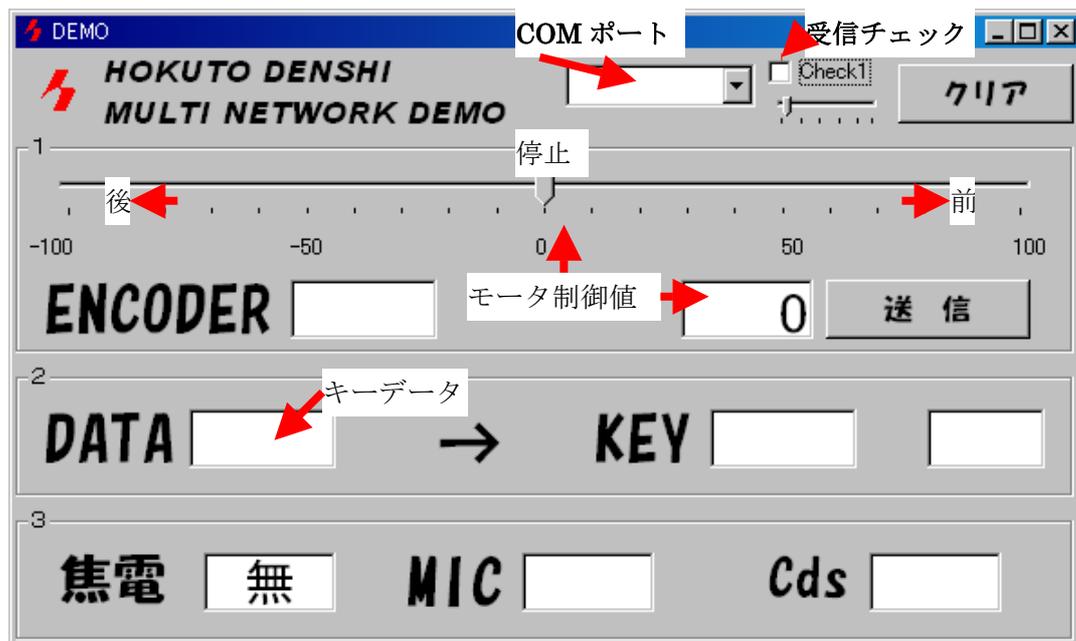
Windows

HSB8C23F-E4のシリアル変換を使いパソコンで各センサの情報表示と制御出力を出します。デモ用に作成したためパソコン及びOSによっては動作しない場合があります。

インストーラでインストールしますと下記の画面が出ます。

COMポートはHSB8C23F-E4のシリアル変換を接続した際のCOMポート番号を選択します。

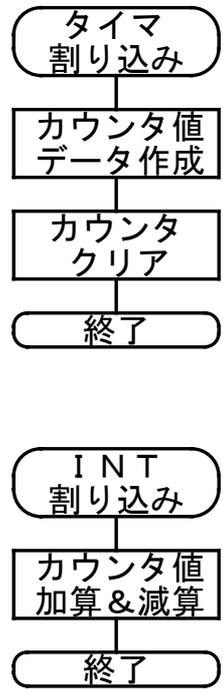
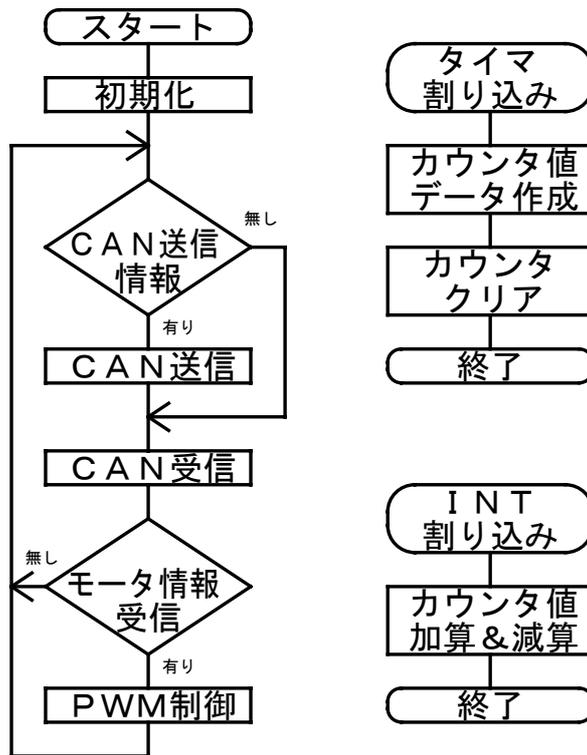
USBを接続する箇所等でCOMポートが異なるためデバイスマネージャ等で調べて設定して下さい。受信チェックは連続で受信させる場合にチェックします。



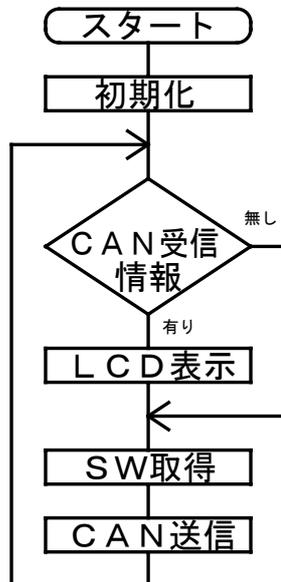
簡単な流れ図

簡略化していますので実際のプログラムと一部異なる部分があります。

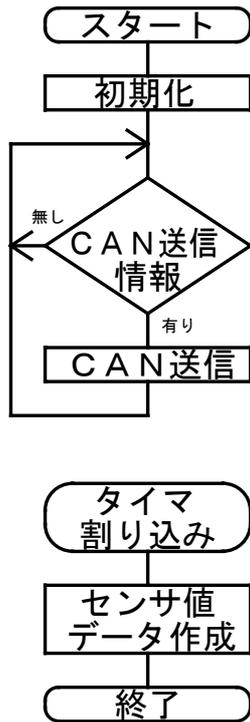
HSB8C23F-E1



HSB8C23F-E2



HSB8C23F-E3



HSB8C23F-E4

